

# 科目区分：人文・社会科学科目

|   |  |     |      |          |           |    |          |
|---|--|-----|------|----------|-----------|----|----------|
| 授業科目名   | 社会と歴史（フランス近世社会史）   |     |      |          | 学期        | 曜日 | 校時       |
| 英語名   | Society and History (Social History of Modern France)                            |     |      |          |           |    |          |
| 担当<br>教員名   | 正 本 忍  | 単位数 | 2 単位 | 必修<br>選択 | 選 択       | 後期 | 水曜日 2 校時 |
| 授 業 の ね ら い ・ 内 容 ・ 方 法   |  |     |      |          |           |    |          |
| <p>本講義のテーマは「前近代フランスにおける犯罪、社会、国家」である。犯罪及びその取締り（予防を含む）は、時代や場所を問わず、社会と権力のあり方を反映するものである。すなわち、犯罪は単なる反社会的な行為というわけではなく、社会の歪みを映す鏡であり、人々の社会的な自己表現の手段あるいは社会的抗議の一形態でもある。また、その取締り（法律、裁判、刑罰、警察など）はそのような人々の行為を違法行為として断罪する権力側の支配・統治のあり方を示す。本講義では、1970年代以降進められてきた「犯罪の社会史」の研究成果に基づき、主として犯罪に対する権力側の対応を通して、前近代フランスに垣間見える社会や権力のあり方について考察する。</p>   |  |     |      |          |           |    |          |
| テ キ ス ト 、 教 材 等   |  |     |      |          |           |    |          |
| テキストは用いず、参考資料等はプリントで配布する。参考文献は講義中に紹介する。   |  |     |      |          |           |    |          |
| 対 象 学 生   | 成 績 評 価 の 方 法  |     |      |          | 教 員 研 究 室 |    |          |
| 全 学 部   | 定期試験、レポート（あるいはノート）、平素（講義への参加状況、講義中の態度）などにより評価する。それぞれの配点比率は現在、検討中であり、第1回の講義で通知する。 |     |      |          |           |    |          |
| 授 業 計 画   |  |     |      |          |           |    |          |
| <p>テーマ：前近代フランスにおける犯罪、社会、国家</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 犯罪の社会史研究</li> <li>2 裁判組織と警察組織</li> <li>3 犯罪と刑罰</li> <li>4 神判</li> <li>5 決闘裁判</li> <li>6 異端審問</li> <li>7 魔女裁判(1)</li> <li>8 魔女裁判(2)</li> <li>9 性的不能者裁判</li> <li>10 動物裁判</li> <li>11 ルイ 14 世宮廷毒殺事件</li> <li>12 カラス事件とヴォルテール</li> <li>13 ジャンヌ・ダルク裁判</li> <li>14 関連ビデオ鑑賞</li> <li>15 予備日</li> </ol> <p>オフィスアワー（質問受付時間）<br/>         ・水曜日 12:00～13:00 講義室あるいは教員研究室</p> |  |     |      |          |           |    |          |